

本校 農業科OB 松宮久基さんに学ぶ!

ロックウール耕を利用したトマト・イチゴ栽培を現地視察



生産科学系列生が農業経営の「い・る・は」を学習

12月10日(火)生産科学系列生2年生が、久美浜町内の松宮農園を訪れ、本校農業科のOBで地元で手広く農業経営をされ、活躍されている代表の松宮久基さんから農業経営の現状や経営のノウハウを指導していただきました。

当日は小雪の舞う大変寒い中、松宮農園の代名詞となっているロックウール耕を利用したトマトやイチゴのハウス栽培の様子を現地で見学させていただき、その後、松宮さんから『本校農業科卒業後、サカタ種苗で研修をした社会人時代の様子や現在の農業経営に至るまでの農業との関わりや、農業の魅力、農業経営の楽しさや苦勞、経営のコツ』を親切丁寧に教えていただきました。

また、実際にロックウール耕で栽培されたイチゴも試食させていただきました。特にこのイチゴの味は、生徒達に大きな衝撃を与えたようで、「めっちゃうちゃ甘くて、おいしい!」「これならいくらでも売れるんと違うかな～」といった声が聞かれました。

日頃農業を学んでいる生徒達にとって、とても実りある刺激の多い時間となったようでした。こういった生の経験や刺激を大切にしながら、地元で「がんばる農業」の現状を学び、今後も農業に興味・感心を持ち、農業や食と向き合ってくれる若者を少しでも応援していきたいと思っています。

